



## 水難事故防止に備えて… 着衣水泳実施

本日で一学期が終わります。連日の暑さを考えると、今から始まる38日間の夏季休業中は、水に触れる機会が多くなるのではないかと思います。

海や川、プール等、水辺で遊ぶと、危険性も増えます。水に関する事故(水難事故)が特に心配なところです。

この度5・6年生は、水で溺れた場合を想定して「着衣水泳」に取り組みました。ふだんの服を着たまま水に入ると、服がとても重くなり、思うように体を動かすことが出来ません。また、助けを求めて大きな声を出すと、体から空気が出て、一気に体が沈んでしまうことを知りました。

そこで今回は、体力を温存しながら少しでも長い間助けを待つ練習をしました。

合い言葉は【浮いて 待て!】

前まで泳げていたとか、これくらいの深さなら大丈夫などと過信をせずに、命を大切に、安全第一で夏を過ごしてほしいと思います。



# 浮いて 待て!

## 「自由プール」が変わる!

これまでは、夏休みに入ると各学年ごとに学習会を開いたり、地区ごとに自由に学校のプールに入ることが出来る「自由プール」があったりしました。地域やPTAの皆様にもずいぶんお世話になりました。

全国的にコロナに対する取り扱いも変わり、この度長年続いてきた「自由プール」のシステムが大きく変わることになりました。

各小学校のプールを使用するのではなく、市内の公共施設のプールに自由に入ることが出来るようになりました。市内の小学校に通う全児童を対象に、夏休み期間中、市内公共施設のプールで利用できる無料チケットを、一人につき5枚配布されました。市内では、緑ヶ丘プール、スポーツセンター、アイ愛センター、ラストホールと今年度は市内4か所の公共施設のプールで実施します。



## 1学期が終わり、38日間の夏休みへ

笹っ子たちは本日1学期の終業式を終え、明日からいよいよ長い夏休みに入ります。

今学期をふりかえると、学校の教育活動も少しずつ落ち着きを取り戻し、「第57回体育大会」も前日が大雨警報による臨時休業日とはなりましたが、3学年ずつに分かれて開催することができました。また6月20日からは、かつてのような水泳学習にも戻すことが出来ました。

各学年の遠足や社会見学などの校外活動も、それぞれの行事の目的を持って予定どおり実施できたことは、大変嬉しいことです。いまだコロナは終息したとは言えませんが、2学期も高学年の宿泊行事(修学旅行、自然学校)をはじめ、一つ一つが子ども達にとって価値ある教育活動になるように全職員協力して取り組みます。

明日から思い出深い、楽しく有意義な夏休みになりますように…

## 公共マナーを大切にすること

夏休みのことではありませんが、先日笹っ子の道路を歩くときのマナーについて、地域の方々からご注意を受けることがありました。

下校時に「道路を歩くときに数人で道幅いっぱいに広がり、話しながら通行している」とのことでした。後方からの自転車や道を歩いている人に気づかず、後ろから声をかけられ振り返っても、そのまま歩いていきました。

この話を聞いたとき、とても残念な気持ちになりました。みんなの道です、お互いゆずり合って、安全に通ることが大切なのではないでしょうか。

また、こんなこともありました。「公園で小さい子どもが遊んでいるのに、小学生が近くでボールを蹴って大変危ない」とのことでした。こちらも注意をされてもやめることなく、周囲のフェンスに向かって蹴り、大きな音もたてていたようです。

人に言われなければ気づかない、言われても知らんふりをするなどは、当然のことながらあってはいけません。お菓子など食べ物を公園に持って行って食べ、そのままゴミをちらかして帰っていたとの話もありました。

みんなで使うものや公共の場所の利用の仕方について、今一度見直してほしいものです。みんなの物は大切に、順序よく使う。

笹原小学校では、普段から火曜日の放課後は運動場をスポーツ団体等に貸し出さず、みんなが使えるように「校庭開放の日」としています。うまく利用して、誰もが楽しく遊べるようにしてほしいものです。

